



チョコレートの輸入

平成30年1月24日
大阪税関

チョコレートの輸入が増加中！！

近畿圏の輸入は2017年が
金額・数量とも過去最高！

10～12月が輸入の最盛期！
2017年10月、11月に過去最高！

不動のセンター！
ベルギー産チョコレート！

【はじめに】

シーズン到来！チョコレートの季節です。デパート各店では期間限定のチョコレートコーナーが開設され、たくさんのお客さんでにぎわっています。

甘くて美味しいチョコレートはどこからどのくらい輸入されているのでしょうか？

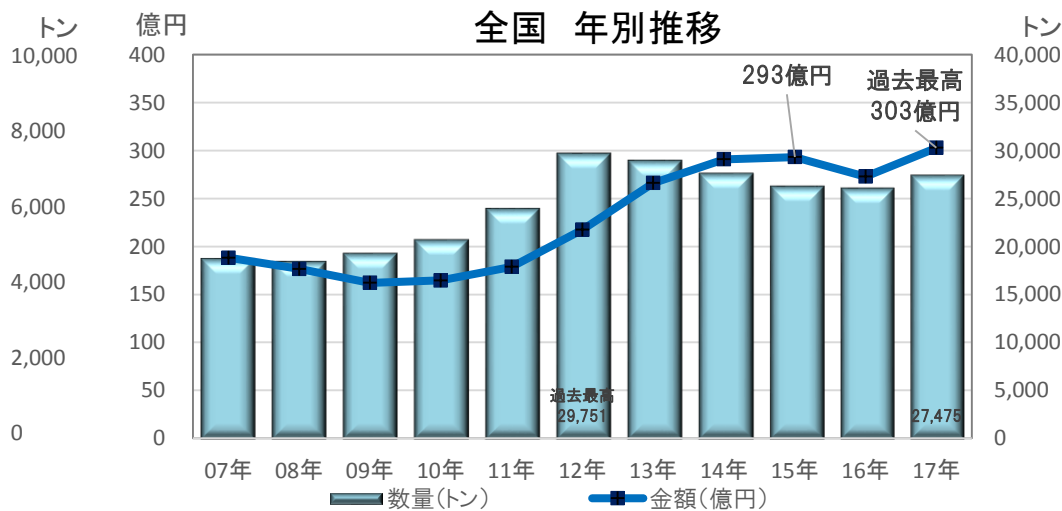
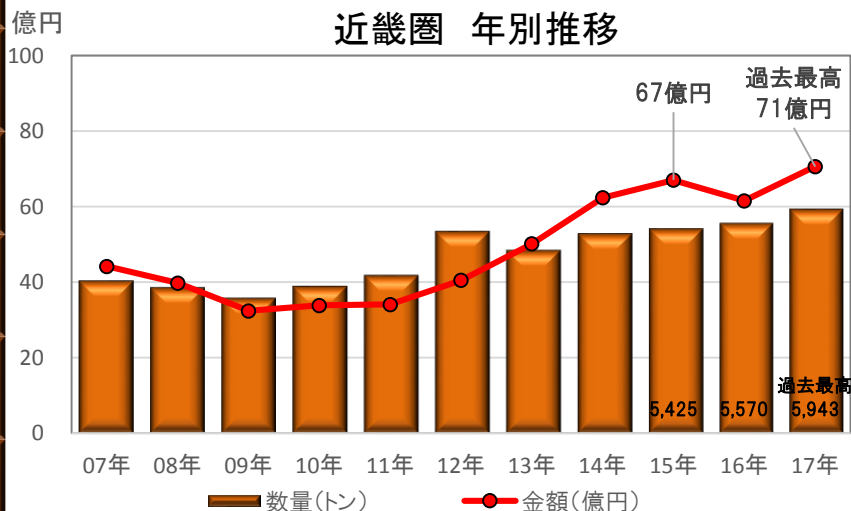
今回はチョコレートの輸入にスポットを当ててみました。

- (注1)本特集におけるチョコレートは
統計品目番号1806.31-000、1806.32-100、1806.90-100に属するチョコレート菓子、
または塊状、板状、棒状の2KG以下の詰め物をしたチョコレートを集計したものです。
- (注2)本特集における経済圏は以下の都府県を含むものです。
近畿圏：大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県
首都圏：東京、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、埼玉、山梨の1都7県
- (注3)本資料における過去最高は1988年以降の比較によります。
- (注4)2016年までは確定値。
2017年は1～10月は確定値、11月は輸入9桁速報値、12月は速報値。
- (注5)本資料を他に転載するときは大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。

【近畿圏・全国 年別推移】

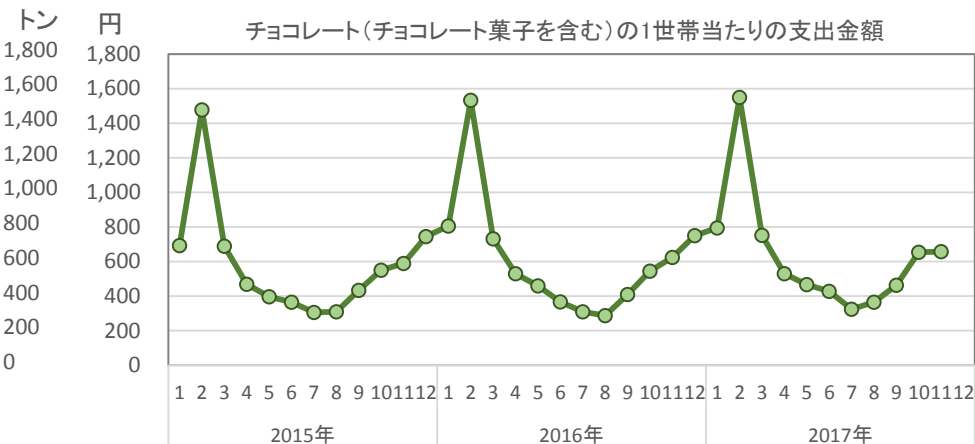
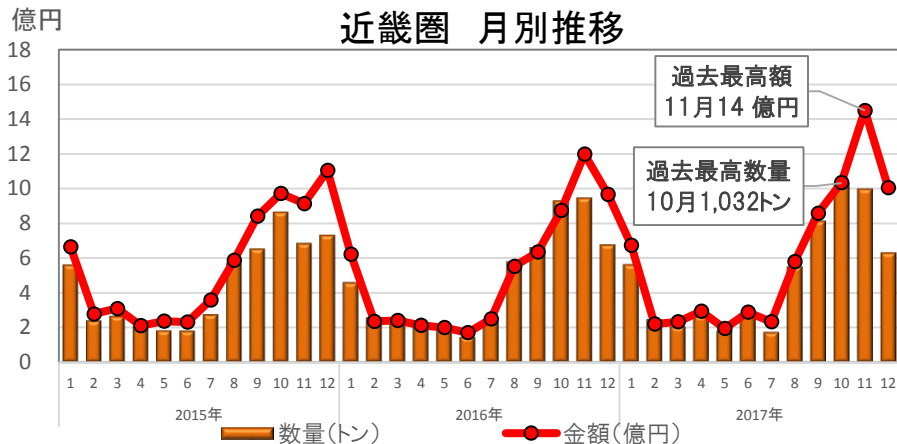
2017年の近畿圏のチョコレートの輸入は71億円で2015年以来2年ぶりの過去最高を更新しました。数量は5,943トンとなり、2015年から3年連続で過去最高を更新しました。10年前と比較すると金額ベースで約1.6倍、数量ベースで約1.5倍の伸びを示しています。

2017年の全国の輸入実績は303億円で過去最高額を記録しました。数量は27,475トンとなりました。



【近畿圏 月別推移】

月別の輸入推移を見ると例年10月～12月に多く輸入されています。2017年10月は1,032トン、11月は14億円でそれぞれ過去最高を記録しました。夏場に輸入量が少ないのは溶けやすい性質上、保存や輸送が難しく、冷蔵設備の管理にコストがかかり過ぎるという理由があります。冬場はバレンタイン商戦に向けて輸入が増えると言う理由があるほか、クリスマスからお正月にかけては友人や家族で集う機会に多く消費されるとのことです。総務省の家計調査における世帯当たりの月別支出額を見ると、バレンタインデーの2月は別にしても、冬場に支出額が伸びる傾向があります。

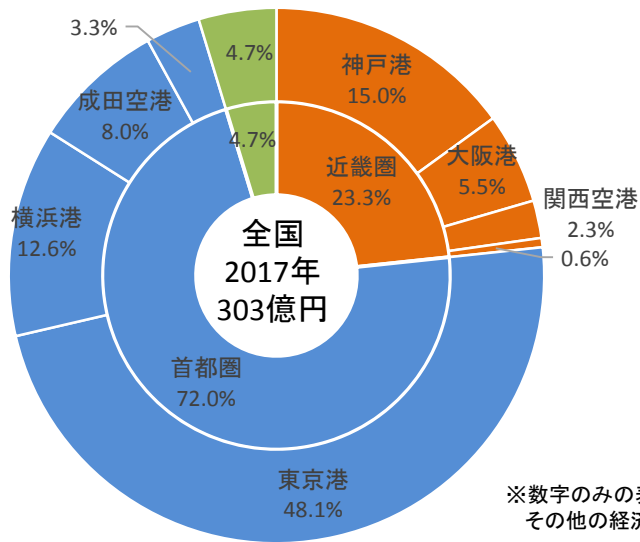


出所:「家計調査(総務省統計局)」

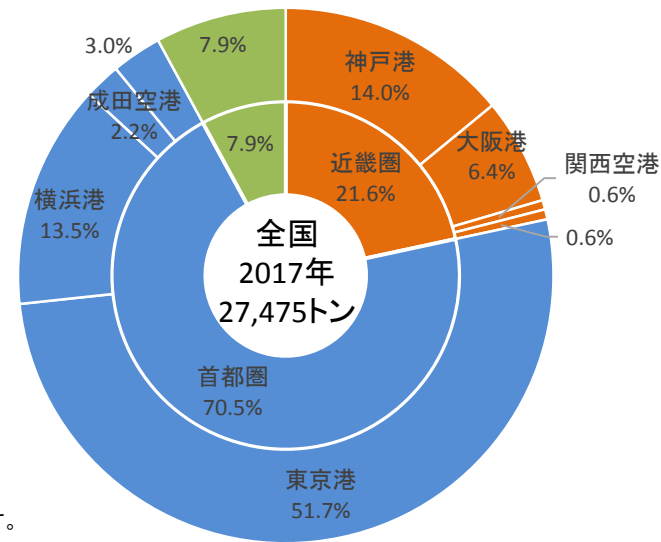
【経済圏別・港別 構成比】

2017年における全国の経済圏別・港別の構成比を見ると、近畿圏は金額ベースで23.3%(数量ベースで21.6%)のシェアを占めています。神戸港は15.0%(同14.0%)、大阪港は5.5%(同6.4%)、関西空港は2.3%(同0.6%)のシェアを占めています。

金額の構成比



数量の構成比



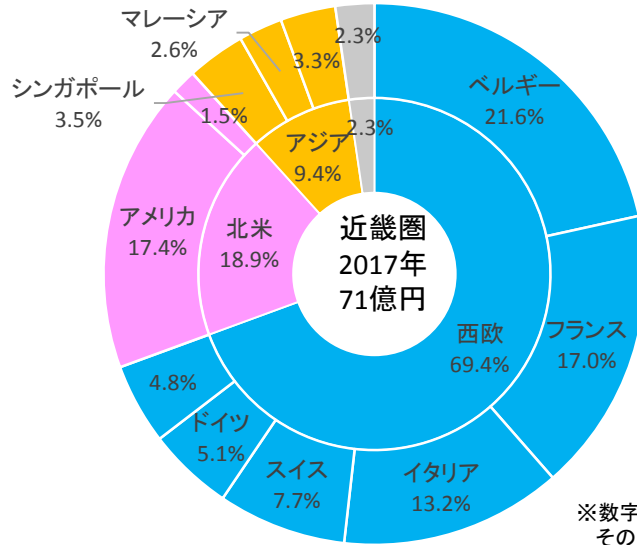
※数字のみの表示は
その他の経済圏・その他の港の構成比です。

【近畿圏 国別構成比】

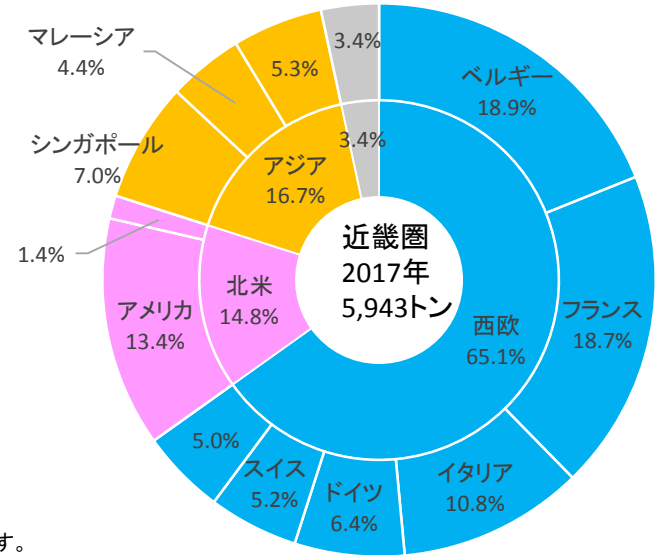
近畿圏の2017年の地域別輸入構成比を見ると、西欧が金額ベースで69.4%（数量ベースで65.1%）、北米が18.9%（同14.8%）となり、合わせて全体の約9割（同約8割）を占めています。

国別ではベルギー、アメリカ、フランスの割合が大きくなっています。しかし、2017年の輸入国数は約40カ国にわたり、様々な国から輸入されています。

金額の構成比



数量の構成比



※数字のみの表示は
その他の地域・その他の国の構成比です。

【近畿圏 国別トップ10の推移(金額ベース)】

近畿圏の国別輸入金額の推移を見ると、チョコレートの本場のベルギーが11年連続のトップをキープしています。また、1～3位に注目すると、ベルギー、アメリカ、フランスが4年連続してトップ3をキープしています。

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
1位	ベルギー	ベルギー	ベルギー	ベルギー	ベルギー	ベルギー	ベルギー	ベルギー	ベルギー	ベルギー	ベルギー
2位	スイス	スイス	スイス	スイス	スイス	フランス	イタリア	フランス	アメリカ	アメリカ	アメリカ
3位	フランス	フランス	フランス	フランス	フランス	スイス	スイス	アメリカ	フランス	フランス	フランス
4位	アメリカ	アメリカ	イタリア	イタリア	イタリア	イタリア	フランス	イタリア	イタリア	イタリア	イタリア
5位	イタリア	イタリア	マレーシア	アメリカ	アメリカ	アメリカ	アメリカ	スイス	スイス	スイス	スイス
6位	中国	マレーシア	アメリカ	マレーシア	マレーシア	大韓民国	シンガポール	シンガポール	シンガポール	ドイツ	ドイツ
7位	オーストラリア	中国	大韓民国	大韓民国	大韓民国	シンガポール	マレーシア	ドイツ	カナダ	シンガポール	シンガポール
8位	マレーシア	シンガポール	中国	中国	シンガポール	マレーシア	ドイツ	カナダ	ドイツ	マレーシア	マレーシア
9位	シンガポール	大韓民国	シンガポール	シンガポール	ドイツ	ドイツ	大韓民国	大韓民国	マレーシア	中国	スペイン
10位	ドイツ	オーストラリア	ドイツ	ドイツ	中国	中国	中国	マレーシア	中国	スペイン	中国

～ 終わりに ～

チョコレートの材料のココアバターの融点は人肌に近く、一般的に32～36度と言われています。それゆえ、口に入れるととろりと溶けてカカオの味と香りが口いっぱいに広がります。しかし、その性質上どうしても夏場は製造や輸送、保存が難しくなるようです。

【輸送方法】

業界によると、チョコレートを輸送する際は温度管理が可能なリーファーコンテナを使用し、コンテナ内部には温度計を設置するなどして細心の注意を払っているそうです。衛生面でも気を配り、積み替え無しで直接日本の港に輸送し、そのまま消費地の倉庫へ運ばれるとのこと。

【最盛期】

月別の動向を見ると、10～12月が輸入の最盛期になります。2月のバレンタインはもちろんですが、近年は友チョコや自分チョコの需要も高く、またクリスマスからお正月にかけては友人や家族が集まるときに消費が多くなり、それに合わせて輸入を増やしているそうです。

【原産国】

そんなチョコレート業界の努力のおかげで最近ではデパートやスーパー、通信販売サイトで様々な国からの豊富な種類のチョコレートを見かけるようになりました。原産国は欧米が主で上位はベルギー、アメリカ、フランスですが、2017年には約40カ国からの輸入がありました。色々なチョコレートを食べてみたいという消費者の好みの多様化に応えるためのものであると推測されます。

各国の特徴としては

● ベルギーのチョコレート

ナッツクリームなどの詰め物をしたプラリネ、トリュフが多いそうです。チップス状になった手軽な商品も輸入されているとのこと。

● アメリカのチョコレート

食べ応えのある手軽な板チョコが多いそうです。キャラメルやナッツをセンターインした商品も出ているとのこと。

● フランスのチョコレート

見た目にも美しいボンボン・オ・ショコラ（一口サイズのチョコレート）が多いそうです。洋酒やナッツ、クリームをふんだんに使ったものもあるようです。

板チョコなどの価格を抑えた商品も輸入されているとのこと。

各国の大きな特徴は以上になりますが、ブランドやメーカーも多いことからチョコレートの種類も価格帯も多種多様になっているようです。

【トレンド】

トレンドとしてはカカオを多く入れたハイカカオチョコレート（ダークチョコレート）が真っ先に挙げられます。それは健康志向の高まりで、チョコレートが持つ効能・効果に期待が寄せられているからのようです。他にも、インスタ映えするようなデザインのチョコレートやパッケージのものもトレンドになっているとのこと。

【増加の要因】

昨今、展示会やメディアでショコラティエの露出が増え、欧州の有名なショコラティエの日本進出が増加しています。製品群も多様化し、チョコレートの需要が増えていることが輸入の増加に反映されていると業界は見ています。

【今後の展望】

業界では消費者のニーズに応えるため今後も新規商品の輸入を検討し、品揃えを増やしていくそうです。特に、乳酸菌入りやシュガーレスなどの健康を意識した商品や、カカオの原産国にこだわった商品、オーガニック商品の輸入を増やしていきたいとのこと。

・本資料を他に転載するときは大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。
・本資料に関するお問い合わせは大阪税関調査部調査統計課まで。（電話06-6966-5385）

【近畿圏・全国 年別推移】

年	近畿圏				全国			
	トン	前年比	百万円	前年比	トン	前年比	百万円	前年比
2007年	4,054	94.3%	4,419	94.3%	18,864	92.9%	18,840	99.9%
2008年	3,870	95.5%	3,976	90.0%	18,551	98.3%	17,673	93.8%
2009年	3,598	93.0%	3,242	81.5%	19,375	104.4%	16,208	91.7%
2010年	3,911	108.7%	3,384	104.4%	20,802	107.4%	16,462	101.6%
2011年	4,200	107.4%	3,412	100.8%	24,014	115.4%	17,879	108.6%
2012年	5,355	127.5%	4,050	118.7%	29,751	123.9%	21,747	121.6%
2013年	4,855	90.7%	5,018	123.9%	28,996	97.5%	26,626	122.4%
2014年	5,297	109.1%	6,235	124.3%	27,657	95.4%	29,096	109.3%
2015年	5,425	102.4%	6,705	107.5%	26,324	95.2%	29,334	100.8%
2016年	5,570	102.7%	6,159	91.9%	26,141	99.3%	27,285	93.0%
2017年	5,943	106.7%	7,065	114.7%	27,475	105.1%	30,303	111.1%

【近畿圏の港空港別 2017年実績】

神戸港		大阪港		関西空港	
トン	百万円	トン	百万円	トン	百万円
3,857	4,548	1,765	1,660	155	687

【近畿圏の国別トップ10 2017年実績】

地域・国	トン	順位	百万円	順位
西欧	3,871	-	4,904	-
ベルギー	1,125	①	1,523	①
フランス	1,114	②	1,201	③
イタリア	645	④	935	④
スイス	312	⑦	542	⑤
ドイツ	381	⑥	362	⑥
スペイン	139	⑨	165	⑨
北米	879	-	1,333	-
アメリカ合衆国	799	③	1,227	②
アジア	992	-	664	-
シンガポール	416	⑤	246	⑦
マレーシア	262	⑧	185	⑧
中華人民共和国	127	⑩	129	⑩

【近畿圏の国別トップ3の年別推移】

(百万円)

年	ベルギー	アメリカ	フランス
2007年	923	350	663
2008年	799	342	578
2009年	722	201	464
2010年	675	333	386
2011年	741	296	433
2012年	860	403	494
2013年	1,195	493	608
2014年	1,246	943	948
2015年	1,361	1,187	1,038
2016年	1,294	1,120	1,000
2017年	1,523	1,227	1,201

※アメリカの過去最高額は1990年で1,437百万円

塗りは過去最高
塗りは当時の過去最高

【近畿圏 月別推移】

年	トン	前年比	百万円	前年比
2015年 1月	561	115.9%	664	116.2%
2015年 2月	240	102.5%	278	116.9%
2015年 3月	267	106.6%	309	122.7%
2015年 4月	208	83.6%	211	87.8%
2015年 5月	184	79.6%	236	86.9%
2015年 6月	181	101.2%	231	117.3%
2015年 7月	276	131.0%	358	196.2%
2015年 8月	570	175.7%	587	146.1%
2015年 9月	654	89.7%	841	114.4%
2015年 10月	865	103.5%	972	104.7%
2015年 11月	685	84.5%	914	95.7%
2015年 12月	733	96.6%	1,105	87.4%
2016年 1月	461	82.1%	621	93.6%
2016年 2月	259	107.8%	235	84.8%
2016年 3月	259	96.9%	240	77.7%
2016年 4月	228	109.9%	213	100.9%
2016年 5月	190	103.1%	200	84.7%
2016年 6月	144	79.7%	170	73.5%
2016年 7月	234	85.0%	250	69.7%
2016年 8月	579	101.6%	553	94.2%
2016年 9月	661	101.0%	635	75.5%
2016年 10月	930	107.5%	874	90.0%
2016年 11月	946	138.0%	1,199	131.2%
2016年 12月	678	92.5%	968	87.6%
2017年 1月	563	122.1%	675	108.5%
2017年 2月	247	95.7%	220	93.5%
2017年 3月	205	79.4%	233	97.0%
2017年 4月	269	117.9%	294	138.0%
2017年 5月	182	95.8%	194	97.1%
2017年 6月	274	190.3%	288	169.5%
2017年 7月	174	74.2%	233	93.3%
2017年 8月	551	95.1%	580	104.8%
2017年 9月	813	123.1%	859	135.2%
2017年 10月	1,032	110.9%	1,035	118.3%
2017年 11月	999	105.6%	1,450	120.9%
2017年 12月	632	93.2%	1,006	103.9%

